EST メールマガジン　第 228 号(2025.7.29)
発行：環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

□主な内容
【第 15 回 EST 普及推進フォーラムを開催しました】
　EST 普及推進委員会とエコモ財団は、7 月 18 日に「第 15 回 EST 普及推進フォーラム～交通分野における環境負荷低減の重要性～」を開催しました。また「第 15 回EST交通環境大賞」の受賞団体が表彰されました。
https://www.estfukyu.jp/forum_kaisai_kekka17.html

【公共交通オープンデータチャレンジ 2025 へのエントリー受付がスタート！】
　公共交通オープンデ 9ータ協議会と国交省は、公共交通オープンデータチャレンジ 2025 へのエントリー受付を開始しました。作品の募集期間は 2025 年 10 月 1 日から 2026 年 1 月 12 日までです。
　本取組みは公共交通オープンデータを活用した、オープン・イノベーションのための、アプリケーション・コンテストを行い、データを活用した新サービスの創出、「交通空白」の解消やオーバーツーリズム対策等社会課題の解決、そして地域交通 DX の実現を目指します。
https://challenge2025.odpt.org/

【運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業の公募が始まりました】
　環境省は、運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業の新規課題の公募を開始しました。公募期間は 8 月 8 日までです。
　本事業は、運輸部門等の脱炭素化に資する技術の社会実装を促進するための開発・実証を行い、運輸部門等の脱炭素化を加速させ、脱炭素化社会の早期実現に貢献することを目的としています。
https://www.env.go.jp/press/press_00135.html

□目次
1. 寄稿「地方から全国に向けた情報発信！」(第 221 回)
●国内初 コミュニティバスへ再エネ由来の e-methane 供給
【株式会社 IHI 技術開発本部　齋藤侑里子】

2. ニュース／トピックス
●公共交通オープンデータチャレンジ 2025　公共交通オープンデータから始まるイノベーションを【国土交通省、公共交通オープンデータ協議会】

●令和7年度ハイブリッド及び天然ガストラック・バス導入支援事業の公募開始について【環境省、北海道環境財団】
●運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業の公募について【環境省】
●持続可能な物流体系の構築にむけて～「多様な輸送モードの更なる活用に向けた実証等事業」の二次公募開始～【国土交通省】
●作業船への次世代燃料導入効果の検証を行います ～カーボンニュートラルポートの形成に向けて～【国土交通省】
●日本版ライドシェア 阿寒で始動！ ～「地域の足」×「観光の足」確保で交通空白解消へ！北海道4例目～【北海道運輸局、阿寒ハイヤー】
●夏休み子ども定期券「キッズパス」の販売について【熊本市】
●「地域の足」×「観光の足」の総合的な確保を推進するハイブリッド型のグリスロが倉吉市で本格運行開始！【倉吉市、日ノ丸ハイヤー】
●輪島市公共ライドシェア【輪島市】
●「都営バスデジタル乗車券」を発売します！【東京都、RYDE】
●大学生が紹介する「とっておきのバスフォトマップ」作品募集及びコンテストの実施【京都市】
●地域脱炭素推進コンソーシアム関西まち We' ll と連携協定を締結【尼崎市、関西まち We' ll】
●AI オンデマンド交通"mobi"をサービス開始 ～誰もが自由かつ気軽に出かけられる地域交通で、ワクワクする毎日の暮らしへ～【ジャパンエンターテイメント、沖縄セルラー電話、Community Mobility】
●デマンドタクシー(交通空白地解消に向けた実証実験)【大和郡山市】
●「公用車を活用した EV カーシェアリング実証事業」の取組みについて ～公用車を活用した EV カーシェアリング実証事業を開始します！～【滋賀県、NTT ビジネスソリューションズ、REXEV】
●ゆりかもめがクレジットカード等のタッチ決済乗車で一日上限サービスを開始【ゆりかもめ、三井住友カード、ジェーシービー、QUADRAC】
●エアポートシャトルの新サービス「シェア乗りライト」を本格始動【NearMe】
●国内初となる自動運転トラックによる幹線輸送の商用運行を開始 ～5 社を対象に関東－関西間でスタート～【T2】
●自動運転トラックと貨物鉄道を組み合わせた「モーダルコンビネーション」関東‐九州間で初めての「往復」の実証を開始 ～2027 年にレベル 4 自動運転での輸送を目指す～【東洋製罐グループ HD、全国通運、JR 貨物、T2】
●伝統と歴史の象徴京都の日本酒を自動運転トラックで輸送へ レベル 4 実現に向けた実証輸送開始【鈴与、T2、月桂冠】
●米国初の自動運転車による公共交通サービスが開始【ジャクソンビル】

●移動に制約のある「交通弱者」を支援するために持続可能で公平なモビリティ・ソリューションの実現を目指したアイディアコンテストを開始【トヨタ・モビリティ基金、Citinova、Labifor、WRI ブラジル】

3. イベント情報
●大阪モノレール＆北大阪急行エキタグスタンプラリー【2025/7/19-10/13】
●夏休みキャンペーン！ 成田空港見学ツアー【2025/7/21-8/31】
●第 1 回小中高等学校におけるモビリティ・マネジメント教育情報交換会【2025/8/9】
●大和鉄道まつり 2025【2025/8/9-10】
●グリーン経営認証取得講習会【2025/9/4】
●鉄道フェスティバル in 東北【2025/10/5】
●地域脱炭素マッチングイベント【2025/10/24】
●第 32 回「鉄道の日」記念イベント【2025/10/25】

4. その他
●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
●電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
●「運輸・交通と環境」を発行しています！
●記事募集中！

==

1. 寄稿「地方から全国に向けた情報発信！」(第 221 回)

●国内初 コミュニティバスへ再エネ由来の e-methane 供給

【株式会社 IHI 技術開発本部　齋藤侑里子】

株式会社 IHI と相馬市は連携して「そうま IHI グリーンエネルギーセンター(以下、SIGC)」を運営しており、再エネの地産地消及び循環型社会の実現を目指した様々な取組みを行っています。

2018 年の開所以来、①SIGC 敷地内で発電した電気を相馬市の設備(クリーンセンター、下水処理場)へ送る「再エネの地産地消」、②余剰電力で水素を製造・貯蔵し、燃料電池を用いて災害時の非常用電源として活用する「防災機能の充実」、③製造したグリーン水素利用などによる地域社会との連携、水素研究開発による関係人口の増加を図る「地域活性化」などを行ってきました。

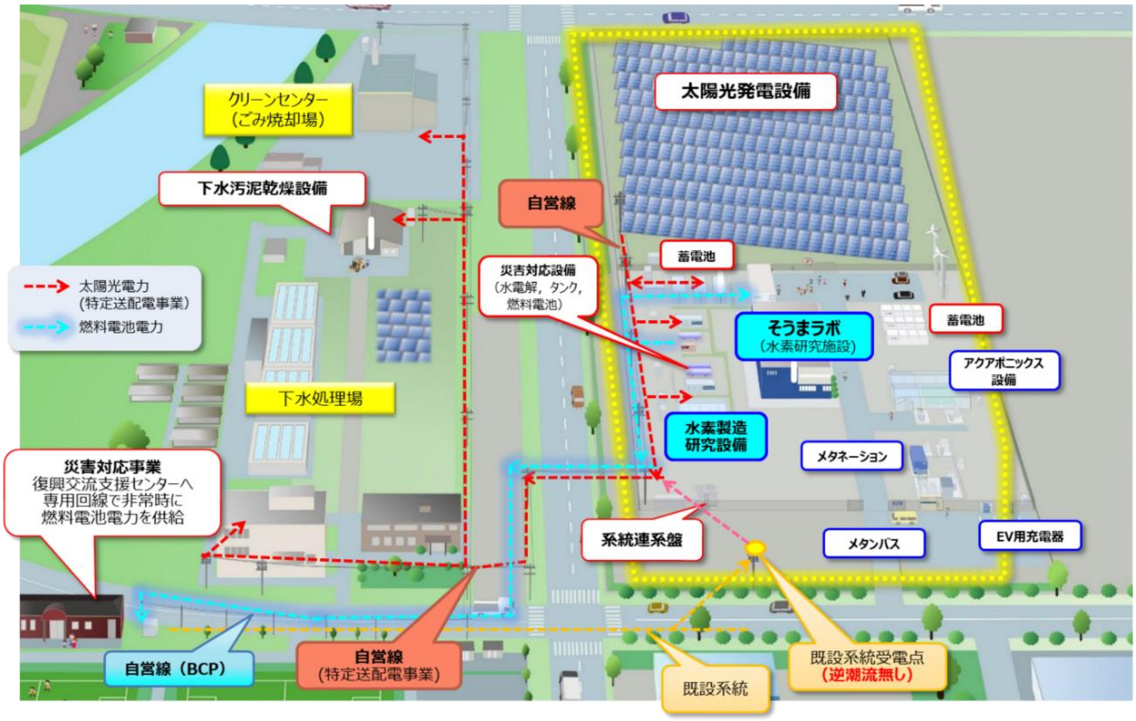

図　SIGC 概要

2023 年より、SIGC 内に設置されている太陽光発電の余剰電力を利用して製造したグリーン水素と二酸化炭素を用いて、IHI 製メタネーション装置で e-methane(グリーンメタン)を製造し、相馬市が運用しているコミュニティバス「おでかけミニバス」の燃料として供給しています。10 年以上にわたり相馬市民の足として地域交通を支えてきた「おでかけミニバス」へカーボンニュートラル燃料である e-methane を供給することで、ガソリンでの運行と比較して、2 年間で約 2 トンの CO_2を削減(CO_2排出ゼロ)、低 NO_x を達成しています。

この e-methane での走行は年間 4000km 程度で、2 年間にわたりトラブルもなく運用されています。また、燃料の違いによる乗り心地の違いはほとんどなく、利用者への負担もない状態でカーボンニュートラルが進められています。

なお、本取組みは、日本で初めて国連規格（UNR110）ガス容器を適用したケースであり、さらに太陽光由来の e-methane（合成ガス）を使って車両走行させた点も日本初のケースとなっています。

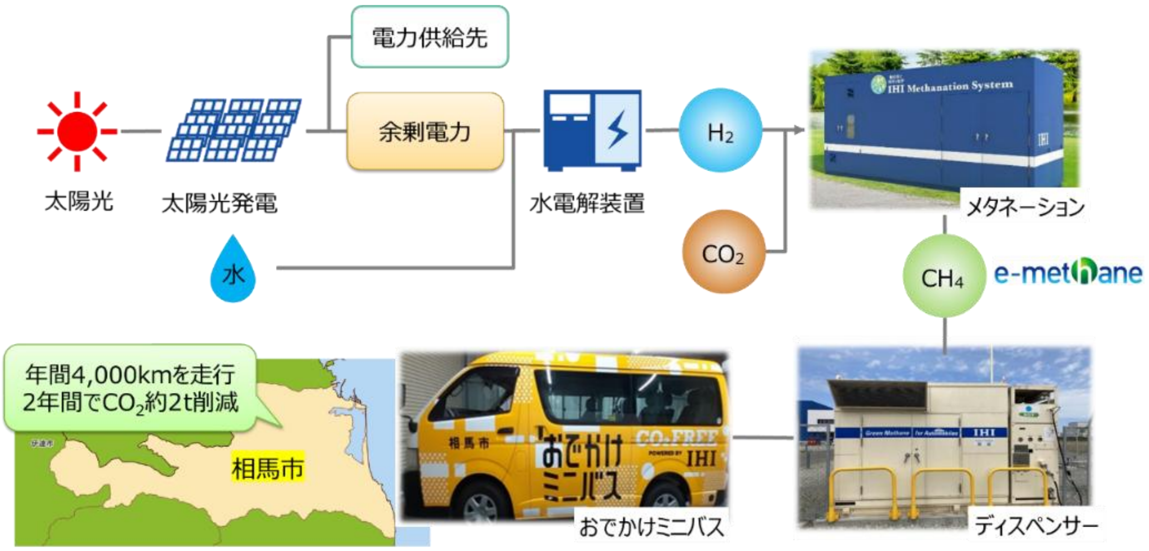

図　取組み概要

メタネーション装置で製造されるメタン（e-methane）は天然ガスの主成分であることから、既存の天然ガスインフラが利用でき、水素を燃料とした場合に必要となる初期投資が不要など多くのメリットがあります。実際に本事業では、「おでかけミニバス」として 10 年以上走行してきた現役の「ハイエース」をバイフューエル車に改造して運用し、さらにディスペンサー（燃料供給設備）も廃棄処分予定であったものを活用していることから、新エネルギーを使うための投資を削減するだけでなく、車両製造・ディスペンサー処分に伴う CO_2排出の抑制にもつながっています。

これからも「おでかけミニバス」の運用だけでなく、相馬市とともに循環型社会の実現に向けた取組みを続けてまいります。

図　相馬市内を走行するおでかけミニバス

---

2. ニュース／トピックス

●第 15 回 EST 普及推進フォーラムを開催しました【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会とエコモ財団は、7 月 18 日に「第 15 回 EST 普及推進フォーラム～交通分野における環境負荷低減の重要性～」を開催しました。また「第 15 回EST交通環境大賞」の受賞団体が表彰されました。

https://www.estfukyu.jp/forum_kaisai_kekka17.html

●公共交通オープンデータチャレンジ 2025 公共交通オープンデータから始まるイノベーションを受付開始【国土交通省、公共交通オープンデータ協議会】

公共交通オープンデータ協議会と国交省は、公共交通オープンデータチャレンジ 2025 へのエントリー受付を開始しました。作品の募集期間は 2025 年 10 月 1 日から 2026 年 1 月 12 日までです。

本取組みは公共交通オープンデータを活用した、オープン・イノベーションのためのアプリケーション・コンテストを行い、データを活用した新サービスの創出、「交通空白」の解消やオーバーツーリズム対策等社会課題の解決、そして地域交通 DX の実現を目指します。

https://challenge2025.odpt.org/

●令和7年度ハイブリッド及び天然ガストラック・バス導入支援事業の公募開始について【環境省、北海道環境財団】

（公財）北海道環境財団は、環境省から令和 7 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業（ハイブリッド及び天然ガストラック・バス導入支援事業））の交付決定を受け、公募を開始しました。公募期間は、2026 年 1 月 30 日までです。

本補助金は、CO_2 の排出削減を図るため、環境配慮型のトラック・バス（ハイブリッド自動車、天然ガス自動車）の導入に要する経費の一部を補助するものです。

https://www.env.go.jp/press/press_00065.html

●運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業の公募について【環境省】

環境省は、運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業の新規課題の公募を開始しました。公募を行う実証事業の対象分野は、「エネルギーマネジメント」、「次世代物流」です。公募期間は 8 月 8 日までです。

本事業は、運輸部門等の脱炭素化に資する技術の社会実装を促進するための開発・実証を行い、運輸部門等の脱炭素化を加速させ、脱炭素化社会の早期実現に貢献することを目的としています。

https://www.env.go.jp/press/press_00135.html

●持続可能な物流体系の構築にむけて～「多様な輸送モードの更なる活用に向けた実証等事業」の二次公募開始～【国土交通省】

国交省は、「多様な輸送モードの更なる活用に向けた実証事業」の二次公募を開始します。公募期間は、8 月 18 日までです。

本事業は、陸・海・空の輸送モードを総動員した「新モーダルシフト」の促進に向けて、航空機の空きスペース等の活用や内航海運の新規需要創出を推進する取組みを補助するものです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000919.html

●作業船への次世代燃料導入効果の検証を行います ～カーボンニュートラルポートの形成に向けて～【国土交通省】

国土交通省は、直轄港湾工事を対象として港湾工事に従事する作業船にバイオディーゼル燃料等を使用し二酸化炭素排出量の削減効果等を検証する、「作業船への次世代燃料導入効果検証試行工事」を開始しました。

本工事では、直轄港湾工事で使用する作業船に二酸化炭素排出量が少ない次世代燃料として期待されている FAME や GTL を導入し、作業船由来の二酸化炭素排出量の削減効果等を検証します。

https://www.mlit.go.jp/report/press/port05_hh_000394.html

●日本版ライドシェア 阿寒で始動！ ～「地域の足」×「観光の足」確保で交通空白解消へ！北海道4例目～【北海道運輸局、阿寒ハイヤー】

北海道運輸局は、釧路市からの申出に基づき、「阿寒白糠圏」の営業区域において、阿寒ハイヤー株式会社に対し、日本版ライドシェアの許可を行いました。

北海道では「札幌交通圏」「伊達圏」「松前圏」の営業区域で許可を行っていますが、今回の許可は、特に阿寒湖温泉地区での地域住民及び観光客の移動需要に対応するため、釧路市のうち旧阿寒町を発地又は着地とする運送に限定するものです。

https://wwwtb.mlit.go.jp/hokkaido/press/20250717_00002.html

●夏休み子ども定期券「キッズパス」の販売について【熊本市】

熊本市は、小学生以下を対象として、夏休み期間中は市電・熊本県内の全バス(一部除く)・電鉄電車に乗車できる夏休み子ども定期券「キッズパス」の販売を開始しました。利用期間は 8 月 31 日までです。

https://www.kotsu-kumamoto.jp/kihon/pub/detail.aspx?c_id=3&type=top&id=1622

●「地域の足」×「観光の足」の総合的な確保を推進するハイブリッド型のグリスロが倉吉市で本格運行開始！【倉吉市、日ノ丸ハイヤー】

倉吉市は、打吹エリア（成徳地区・明倫地区）における地域住民の生活の移動手段と観光客の観光の移動手段を補完する目的で、タクシー事業者（日ノ丸ハイヤー株式会社）による安全管理の下に、地域住民の方々がドライバーとなり、グリーンスローモビリティの本格運行を開始しました。毎年 3 月～11 月の水曜、木曜、土日祝日に運行します。

https://www.city.kurayoshi.lg.jp/9771.htm

●輪島市公共ライドシェア【輪島市】

輪島市は、震災以降、移動手段の確保が課題となっていたことから、一般のドライバーが有償で移動支援をおこなうライドシェアを開始します。

本取組みは、国土交通省が地域の「交通空白」解消に向けて公共ライドシェア等を実証的に導入する取組みについて支援する、「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」を活用したものです。

https://www.city.wajima.ishikawa.jp/docs/2025071400014/

●「都営バスデジタル乗車券」を発売します！【東京都、RYDE】

東京都と RYDE 株式会社は、都営バスで利用できる「都営バスデジタル乗車券」の発売を開始しました。発売及び利用期間は 9 月 30 日までです。

本サービスでは、都営バス一日乗車券をスマートフォンのアプリを通じて、乗車前にキャッシュレスでご購入することができます。また、デジタル乗車券の購入者には都営交通沿線セレクトショップ「とえいろ」で利用できる 10%オフクーポンがプレゼントされます。

https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/07/2025071103

●大学生が紹介する「とっておきのバスフォトマップ」作品募集及びコンテストの実施【京都市】

京都市は、市内の大学生から、バスに乗って行ってみたくなる「バスフォトマップ」作品の募集を開始しました。募集期間は 10 月 7 日までです。

本コンテストは、京都市のモビリティ・マネジメントの取組みとして、大学生には京都市内の路線バスの現状について理解を深めてもらうとともに、マップ作品を広く周知することを通じて、バスの利用促進と市域全体への観光客の分散化を図ります。

https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000343387.html

●地域脱炭素推進コンソーシアム関西まち We'll と連携協定を締結【尼崎市、関西まち We'll】

尼崎市と、鉄道事業者など公共交通事業者 3 社で構成する「地域脱炭素推進コンソーシアム 関西まち We'll」は、地域脱炭素に向けた取組みに関する連携協定を締結します。

協定を締結するにあたり、NATS 各市（西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市）の首長などが一堂に会し、7 月に合同で協定締結式を開催します。
　本協定の締結により、再生可能エネルギーの導入促進や地域脱炭素化に向けた普及啓発、モビリティマネジメントやモーダルシフトによる脱炭素化に向けた取組み等を行います。2025 年 9 月には、J-クレジット制度を活用したプロジェクト「関西エネワ」を開始予定です。
https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kankyo/hozen/1041207.html

●AI オンデマンド交通“mobi”をサービス開始 ～誰もが自由かつ気軽に出かけられる地域交通で、ワクワクする毎日の暮らしへ～【ジャパンエンターテイメント、沖縄セルラー電話、Community Mobility】
　株式会社ジャパンエンターテイメント、沖縄セルラー電話株式会社、Community Mobility 株式会社は、名護市内の一部エリアにおいて、AI オンデマンド交通『mobi（モビ）』のサービスの提供を開始しました。
　本サービスは、生活圏内の移動に便利な「定額乗り合い交通サービス」であり、既存の公共交通の利便性の低さや新テーマパークの開業で増加が見込まれる観光客の交通手段の確保といった、名護市が抱える交通課題の解決を図ります。
https://www.willer.co.jp/news/press/2025/0709_6412

●デマンドタクシー(交通空白地解消に向けた実証実験)【大和郡山市】
　大和郡山市では、10 月 1 日からデマンドタクシーの実証運行を開始します。実証期間は 2026 年 3 月 31 日までです。運行形態は以下の通りです。
・あらかじめ設定されている乗降所でのみ乗降が可能
・決まった路線や時刻表をもたない
・予約内容に応じて、その都度移動経路や乗車時刻を調整
・別々の予約で、移動区間や時間が近い場合は複数人で乗り合わせて移動
https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/soshiki/koutu/8/16164.html

●「公用車を活用した EV カーシェアリング実証事業」の取り組みについて ～公用車を活用した EV カーシェアリング実証事業を開始します！～【滋賀県、NTT ビジネスソリューションズ、REXEV】
　滋賀県、NTT ビジネスソリューションズ株式会社、株式会社 REXEV は、電気自動車を県職員と県民・観光客がシェアリングする「公用車を活用した EV カーシェアリング実証事業」を開始しました。
　本事業は、リースで調達した EV を平日は県職員が公務で利用、休日は県民や観光客が日常の買い物や観光といった用途で利用するものです。EV の普及促進、移動手段の多様化、公用車の有効活用に資する取組みです。
https://www.nttbizsol.jp/newsrelease/202507011000001198.html

●都内初！ゆりかもめがクレジットカード等のタッチ決済乗車で一日上限サービスを開始【ゆりかもめ、三井住友カード、ジェーシービー、QUADRAC】

株式会社ゆりかもめ、三井住友カード株式会社、株式会社ジェーシービー、QUADRAC株式会社は、タッチ決済乗車でゆりかもめを最大 820 円で一日何回でも利用可能となる「一日上限サービス」を開始しました。

https://www.yurikamome.co.jp/company/news/3de6fe3452ec442585f7be8229bfea16_1.pdf

●エアポートシャトルの新サービス「シェア乗りライト」を本格始動【NearMe】

株式会社 NearMe は、ドアツードアで結ぶ空港送迎型の「エアポートシャトル」において、羽田空港と東京都 23 区間にて利用できる新サービス「シェア乗りライト」の提供を開始しました。

「シェア乗りライト」は、出発時間に少し余裕を持たせて予約することで、空席とのマッチングがしやすくなり、よりおトクに利用できるサービスです。

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000193.000031733.html

●国内初となる自動運転トラックによる幹線輸送の商用運行を開始　～5 社を対象に関東ー関西間でスタート～【T2】

株式会社 T2 は、自動運転トラックによる幹線輸送の商用運行を関東−関西間で開始しました。

商用運行は、ドライバーが乗車した上でハンドルから手を放すレベル 2 自動運転トラックを用いて取り組み、2027 年にはドライバーの乗車を必要としないレベル 4 自動運転による幹線輸送の実現を目指します。

https://t2.auto/news/2025/0701.pdf

●自動運転トラックと貨物鉄道を組み合わせた「モーダルコンビネーション」関東−九州間で初めての「往復」の実証を開始　～2027 年にレベル 4 自動運転での輸送を目指す～【東罐ロジテック、全国通運、JR 貨物、T2】

東罐ロジテック株式会社、全国通運株式会社、日本貨物鉄道株式会社および株式会社 T2 の 4 社は、自動運転トラックと貨物鉄道を組み合わせた「モーダルコンビネーション」の実証を、関東−九州間で開始しました。

https://t2.auto/news/2025/0711.pdf

●伝統と歴史の象徴京都の日本酒を自動運転トラックで輸送へ　レベル 4 実現に向けた実証輸送開始【鈴与、T2、月桂冠】

鈴与株式会社、株式会社 T2、月桂冠株式会社の 3 社は、自動運転トラックを用いて日本酒を幹線輸送する実証を、関東・関西間の高速道路一部区間で開始しました。

https://t2.auto/news/2025/0709.pdf

●米国初の自動運転車による公共交通サービスが開始【ジャクソンビル】

ジャクソンビル交通局は、米国で初めて自動運転車を活用した公共交通サービス NAVI。を開始しました。はじめは住宅地から都市のビジネス中心地、スポーツ＆エンターテインメント地区までをつなぐ幹線道路で運行され、今後 10 年間でスカイウェイを自動運転車専用の高架道路に転換し、広く地域を結ぶ計画も立てられています。

https://www.jtafla.com/media-center/press-release/jta-launches-nation-s-first-public-transportation-autonomous-vehicle-revenue-service/

●移動に制約のある「交通弱者」を支援するために持続可能で公平なモビリティ・ソリューションの実現を目指したアイディアコンテストを開始【トヨタ・モビリティ基金、Citinova、Labifor、WRI ブラジル】

（一財）トヨタ・モビリティ基金は、ブラジルのフォルタレザ市で、周辺部に住む「交通弱者」が手頃な価格で利用できる、財政的・環境的に持続可能な交通手段開発の支援を目指したコンテストを Citinova、Labifor、WRI ブラジルと共同で開始しました。

フォルタレザ市では、ライドシェア等の交通手段の拡大を背景に公共交通機関の需要が減少し、格差の拡大、機会不均衡が顕在化しています。また個人所有の車両、バイクの利用の増加により、交通事故、渋滞、環境問題等も増加傾向にあります。このため、バス以外のさまざまな交通手段を統合し、自転車利用やその他の代替移動手段の選択肢を増やすことが検討されています。

https://toyotamobilityfoundation.jp/news/release/0151.html

---

3. イベント情報

●大阪モノレール＆北大阪急行エキタグスタンプラリー
日時：2025 年 7 月 18 日（金）始発～2025 年 10 月 13 日（月・祝）最終
場所：＜大阪モノレール＞ 大阪空港駅、千里中央駅、万博記念公園駅
＜北大阪急行電鉄＞ 箕面萱野駅、千里中央駅、緑地公園駅
主催：大阪モノレール、北大阪急行電鉄
https://www.kita-kyu.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/07/239.pdf

●夏休みキャンペーン！成田空港見学ツアー
日時：2025 年 7 月 21 日～8 月 31 日の毎週土日（午前：5 組、午後：5 組）
場所：成田空港
主催：多古町地域おこし協力隊
https://www.town.tako.chiba.jp/docs/2025070400022/

●第 1 回小中高等学校におけるモビリティ・マネジメント教育情報交換会
日時：2025 年 8 月 9 日（土）13：15～17：15(受付開始 12：45)
場所：日本教育会館会議室 707 号室
主催：（公財）エコモ財団
https://peatix.com/event/4399882/view?k=e34c8dfab3653dcc3da74ac219df678ddc1e333f

●大和鉄道まつり 2025
日時：2025 年 8 月 9 日（土）、10 日（日）10：00～16：00(最終入場 15：30)
場所：奈良県コンベンションセンター
主催：全国鉄道まつり実行委員会
https://yamato-train-fes.net/

●グリーン経営認証取得講習会
日時：2025 年 9 月 4 日（木）13：30～15：30（受付：13:00）
場所：石川県トラック会館第 1 研修室
主催：国土交通省北陸信越運輸局、エコモ財団
https://wwwtb.mlit.go.jp/hokushin/content/000354178.pdf

●鉄道フェスティバル in 東北
日時：2025 年 10 月 5 日（日）10：00～15：00
場所：JR 貨物 仙台貨物ターミナル駅（旧宮城野駅）構内

主催：東北運輸局鉄道部
https://wwwtb.mlit.go.jp/tohoku/content/000350871.pdf

●地域脱炭素マッチングイベント
日時：2025 年 10 月 24 日（金）10：00～17：00
場所：ベルサール東京日本橋
主催：環境省
https://www.env.go.jp/press/press_05008.html

●第 32 回「鉄道の日」記念イベント
日時：2025 年 10 月 25 日（土）10：00～15：00
場所：新潟駅南口広場
主催：第 32 回「鉄道の日」北陸信越地方実行委員会
https://wwwtb.mlit.go.jp/hokushin/content/000354158.pdf

―――

4. その他

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

http://www.green-m.jp

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

https://mm-education.jp/mailmagazine.html

●グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

●「運輸・交通と環境」を発行しています！

（日本語版）

https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html

（英語版）

https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail：magazine@ecomo.or.jp(担当：岡本)

==

発行：環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html

配信停止はこちらから

https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト：https://www.estfukyu.jp/